

# 高校生議員の想い

現在、高校の授業で「総合的な探究の時間」が必修科目の一つとなっていることをご存知でしょうか。県立三田祥雲館高校では、必修化される前の開学当初よりこの探究活動に力を入れており、1年生で基礎を学び、2年生ではテーマを決めてチームで研究活動を行う。3年生になると研究の成果を論文にまとめている。今回、探究活動のチーム代表として高校生議会に参加した3人。提案にあたって選んだテーマや想いを聞きました。



# 特集1 三田市高校生議会 ぼくらの主張



今年度初めての取り組みとして設けられた「特別枠」。異なる高校の2人がペアを組み共同で質問内容を考えた。



オンラインで開催。直接集まることができなくても、熱弁が続いた

議長も高校生議員が務める

高校生の想いに答える森市長

Theme

## 平和教育のあり方



畑亮兵さん

小・中学校、高校と平和について学ぶ機会がありましたが、僕にはきになることがありました。「過去のことを

学習する」ことが中心の平和教育のあり方と、平和教育を担う教員や保護者、地域の大人のほとんどが戦争を体験していない世代となりきちんと次世代に伝えられるのかということです。

目まぐるしく変化する現代社会の平和教育は、過去に起こった戦争の学習に加えて、「学んだことを今後の自分たちにどう生かしていくか」を考えることが必要だと思いました。学校ごとに内容を決めるのではなく、市全体で平和教育のプログラムを決めて取り組んだり、学校だけでなく保護者や地域の大人と一緒に平和について学んだり、意見を交わす機会を増やすことが大切ではないかと思います。

Theme

## パートナーシップ宣誓制度



篠崎心洋さん

提案するなら市政に貢献できるものになりたいと思い、ニュースなどで気になっていたジェンダー問題をテーマに選びました。日本の法律では同性婚が認められていませんが、三田市では婚姻と同等の「パートナーシップ宣誓制度」が導入されています。さらに十分な権利が得られるよう「ファミリーシップ制度の導入と条例制定」を提案しました。

調べるうちにさまざまな壁に当たり「みんなが生きやすい社会」を実現することは本当に難しいことなんだと改めて実感。でも諦めずに議論し続けることが大切なんだと気づきました。今回高校生議会に参加したことで、今まで話すことのなかった問題を家族と話合ったり、深く調べる過程で法律に興味湧き、進路目標も定まりました。

調べるうちにさまざまな壁に当たり「みんなが生きやすい社会」を実現することは本当に難しいことなんだと改めて実感。でも諦めずに議論し続けることが大切なんだと気づきました。今回高校生議会に参加したことで、今まで話すことのなかった問題を家族と話合ったり、深く調べる過程で法律に興味湧き、進路目標も定まりました。

Theme

## 青少年のネットトラブル



さしおりょう

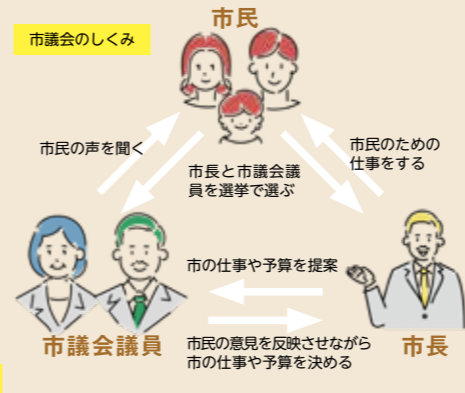
SNSで見知らぬ人を見つけて怖いなと感じたり、友達がインターネットでトラブルにあっているというのを聞いたのがきっかけでこのテーマにしました。最近ではスマホを持つ小学生も増えており、青少年のネットトラブルもここ10年ほどで増えているそうです。同級生にアンケート調査をしたところ、Instagramの公開アカウントを持つ人の中には「知らない人から連絡がきたことがある」という人が多くいることが分かりました。

インターネット上のトラブルから子どもたちを守るには、まず周りの大人がインターネットや情報モラルをきちんと理解しておくこと、それを子どもたちと共有できていることが大切だと考え、学校・家庭だけでなく、三田市全体で教育活動を行うことを提案しました。

インターネット上のトラブルから子どもたちを守るには、まず周りの大人がインターネットや情報モラルをきちんと理解しておくこと、それを子どもたちと共有できていることが大切だと考え、学校・家庭だけでなく、三田市全体で教育活動を行うことを提案しました。

### 市議会とは？

三田市が誰もが住みやすいまちであるためには、市民がみんなで話し合い、何をするかを決めていくことが一番望ましい方法です。しかし、たくさんの市民が同じ場所に集まって話し合うことは難しいため、ともに選挙で選ばれた市長と市議会議員が市民の代表として集まり、よりよいまちになるよう話し合いをして、その方法を決めるところが「市議会」です。



### 若い皆さんの力が必要です 近年、18歳を取り巻く環境

「ぼくたちが大人になったとき、この国の未来は明るいだろうか。未来を明るくするには私たちの政治参加が必要ですよ——」1月30日、高校生たちの鋭い言葉が飛び交った。18歳で選挙権を得る。現在の高校生の皆さんが、実際の市議会さながら市政に対する提案や質問を行う「高校生議会」。自分が関わる地域に関心や愛着を持ち、まちづくりに主体的に参加する意欲を高めることを目的として平成27年度から実施しており、今回で7回目を迎えた。

大きく変わってきている。平成28年には公職選挙法などの一部が改正され、選挙権年齢が18歳に引き下げられた。また、4月には民法が改正され、約140年ぶりに成年年齢が18歳へと引き下げられる。高齢化が進む日本では、18・19歳をはじめとする若い人の力を、社会や政治が必要としていることだ。自分の暮らすまちのこと、社会全体の課題、身の回りを感じることに、考えて、意見を言ったり、誰かと話したり。これが「自分たちの暮らしやすいまち」をつくるための第一歩。今回の特集では、高校生議員の皆さんの想いに迫った。



自分たちの身近なところから、三田市のまちづくり、社会全体の課題まで幅広い質問・提案がありました(議員番号順に掲載)。

# わたしの提案

高校生議員15人

12

## 地域格差をなくすための取り組み

誰もが利用しやすい交通の便を得るために、塾や幼稚園の運行していない時間帯の送迎バスを利用し、山間部地域や高校生の送迎に活用を。



三田西陵高校(1年)

08

## 運動を通じた交流とまちづくり

運動を楽しく続けたいようになるように、競う目的ではなく、運動を楽しむ目的のアットホームなものや地域の人々がふれあえるイベントを。



三田松聖高校(3年)

04

## 通勤・通学時のストレス解消

自転車で快適に走行でき、事故の減少にもつながる自転車専用道路を増やして欲しい!  
「道路不具合通報システム」には地図の掲示を。



三田西陵高校(2年)

13

## 平和教育の新たなカタチ

過去を学ぶことに加えて、未来の平和を作る力の育成を。そのためにも、家庭・学校・地域が一体となって平和の作り方を考える場が必要。



三田祥雲館高校(2年)

09

## 若者が活躍できる町づくり

若者や学生にも市に興味を持ってもらい住みたいと思ってもらうことが必要。SNSを活用して、若者や学生に情報を届けていく工夫を。



有馬高校(1年)

05

## 誰もが暮らしやすい三田市へ

性的少数者の人が暮らしやすい市を作っていくために、ファミリーシップ制度を含む、宣誓者の権利の拡大を目指す条例の制定を提案します。



三田祥雲館高校(2年)

01

## 将来の夢の実現

障害のある人や支援する人が安心して集まれる場所や、みんなが集まって交流できるような場所が増えることを願っています。



ひまわり特別支援学校高等部(1年)

14・15

## 若者が政治に参加するために

未来を明るくするには私たち若者の政治参加が必要不可欠。投票所の近くにイベント会場を設けたり、選挙情報のビジュアル改革で投票率アップを。



三田学園高校 濱田 颯太さん(2年/右)  
クラーク記念国際高校 三田キャンパス 松田 颯汰さん(1年/左)

10

## サテライトオフィスの導入を

農村部の過疎化や少子高齢化の対策には市の歳入を増やすことが必要。老朽化した施設や空き家などをサテライトオフィスに改装して地域経済の活性化を。



北摂三田高校(1年)

06

## 若者が暮らしたいと思える街づくり

SNSの発信にもっと力を！SNSの投稿に「#三田市のごはん」などハッシュタグをつけることを流行らせて、多くの人に三田市の魅力が伝わる工夫を。



三田学園高校(2年)

02

## 元気な高齢者でいるために

健康づくりに早いうちから取り組んで元気な高齢者を増やそう！子育て世代や働き盛り世代から気軽に楽しく健康づくりのための取り組みを。



有馬高校(1年)

11

## ネットトラブルから子どもを守る

情報化が進むにつれ増えていくと予想されるネットトラブルから子どもを守るために、学校だけでなく三田市全体として教育活動を。



三田祥雲館高校(2年)

07

## 動物との共存

家族として生きていける猫が増えるように、SNSや広報誌でTNR活動の情報や今引き取ることでできる保護猫の情報発信を。



クラーク記念国際高校 三田キャンパス(1年)

03

## 三田駅周辺の飲食店の活性化

三田駅周辺の飲食店の情報を発信するInstagram アカウントの開設や飲食店のクーポンを集めたサイトを作るのはどうか。



北摂三田高校(2年)

三田市高校生議会

Youtubeで配信しています!



◀ 市ホームページ(高校生議員の質問・提案の全文や市の答弁内容、当日の様子がご覧いただけます)

高校生議会へのアンケートにご協力をお願いします。みなさんの意見をぜひお聞かせください▶

